

大阪駅・中之島駅ルート(阪神高速)の状況

2025年3月28日
阪神高速道路株式会社

これまでの検討状況について(阪神高速道路株式会社)

検討状況

○今後の自動運転車の拡大、将来の完全自動運転化を見据え、万博会場へのシャトルバスアクセスルート(淀川左岸線(1期)及び(2期))において、関係機関と連携して、バス事業者が行う自動運転車の走行を支援する合流支援システム・先読み情報提供等の実装に向けて取り組んでいます



2024年度の取り組みについて(阪神高速道路株式会社)

実施状況

➤ 合流支援システム、先読み情報提供の機器を設置完了

○合流支援(3カ所)

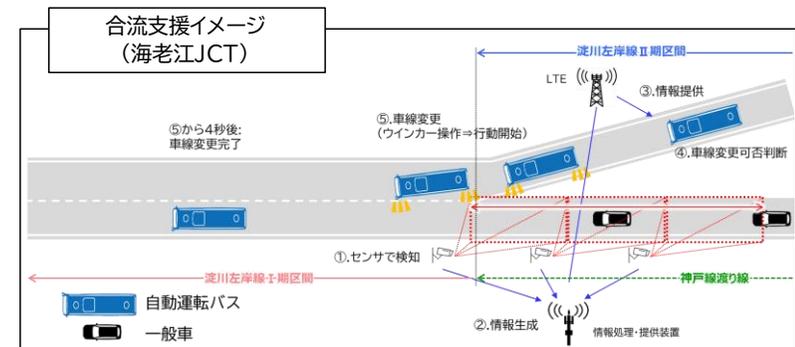
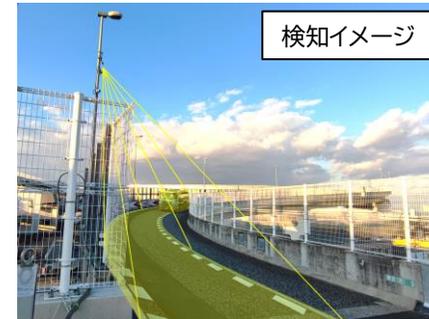
- ・大淀:本線部を検知し、自動運転車の合流を支援
- ・海老江:渡り線部を検知し、自動運転車の車線変更を支援
- ・大開:入口部を検知し、自動運転車の本線走行を支援
(機器仕様)

- ・センサ:電波レーダ方式
- ・通信方式:LTE

○先読み情報

- ・交通管制システムと接続することにより、交通管制室で把握した路上障害等の情報を、自動運転バスで活用可能なフォーマットで配信し、海老江JCTでの自動運転車の車線変更を支援

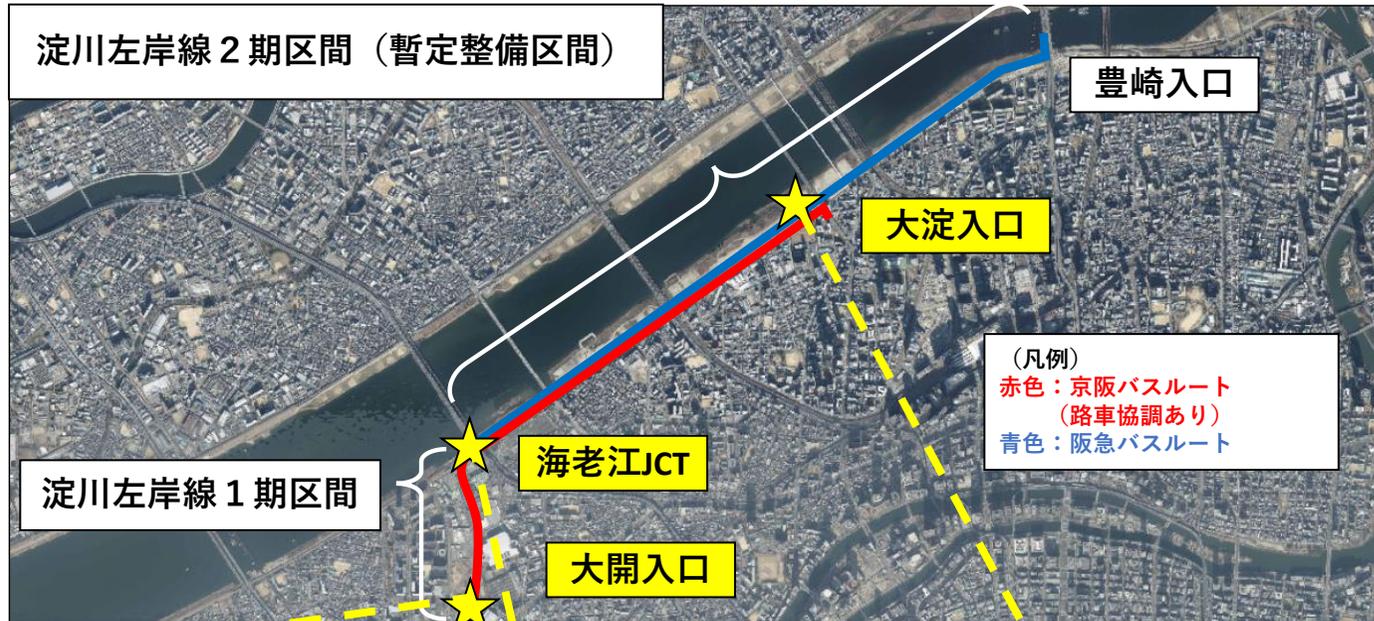
➤ 合流支援情報・先読み情報を活用した自動運転バスの走行試験を実施



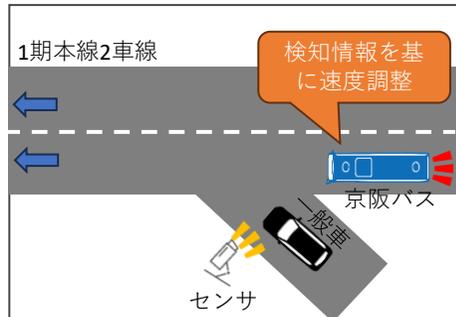
2025年度自動運転バスの実施内容について(阪神高速道路株式会社)

計画概要

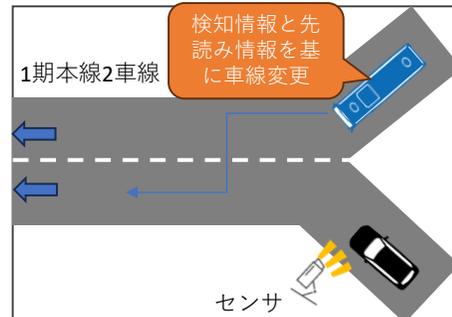
- 実証期間中、合流支援と先読み情報提供を運用し、自動運転バスの安全な走行を支援
- 実証期間中に取得するデータを活用し、合流支援情報及び先読み情報の効果検証を実施



他車合流：自動運転車が本線、一般車が合流



車線変更：自動運転車の車線変更



自車合流：一般車が本線、自動運転車が合流

